

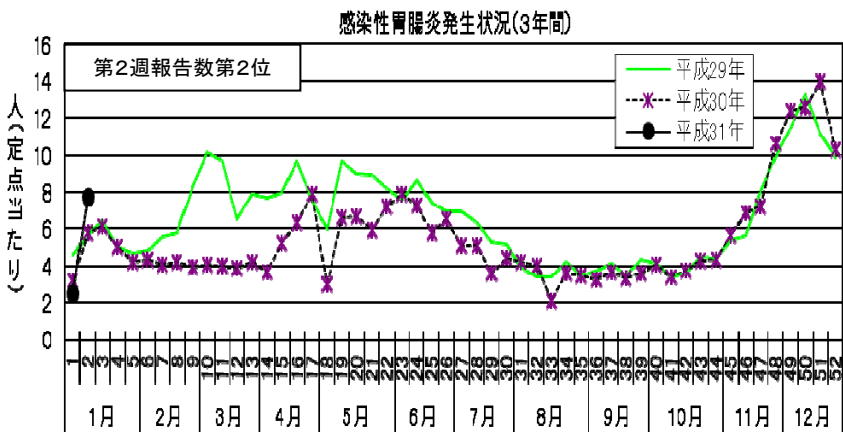
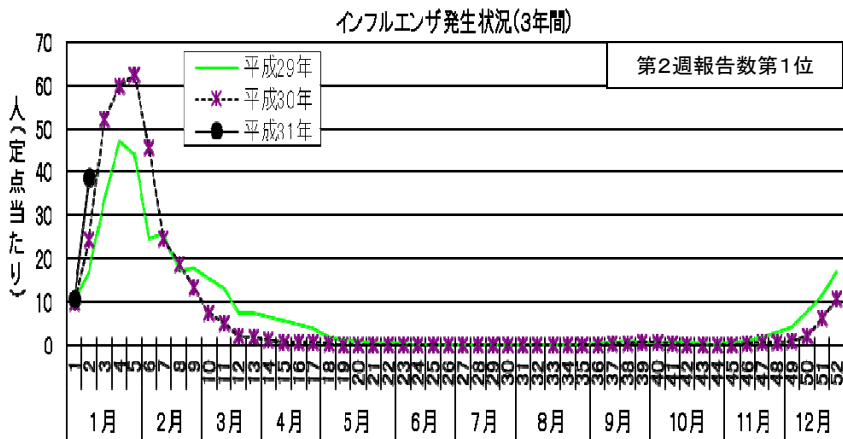
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成31年1月7日（月）～平成31年1月13日（日）〔平成31年第2週〕の感染症発生状況

第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は38.48人と前週（10.58人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.78人と前週（2.48人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.24人と前週（0.97人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

★インフルエンザウイルス★
インフルーくん



インフルエンザの流行発生警報が発令されました！

川崎市では、インフルエンザの平成30年第52週（12月24日～12月30日）の定点当たり報告数が10.62人となり流行発生注意報を発令しましたが、その後患者報告数が急増し、平成31年第2週（1月7日～1月13日）は38.48人と流行発生警報基準値（定点当たり30.00人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

現在の流行はA型インフルエンザが中心で、健康安全研究所に搬入される検体からは、年末まではAH1pdm09型が多く検出されていましたが、年明け以降はA香港型の検出数も増えています。インフルエンザにかからない、拡げないためにも手洗いや咳エチケットを心がけましょう。

インフルエンザから身を守るためには？

- ◆ ワクチン接種
- ◆ 手洗いの徹底
- ◆ 適度な湿度の保持
- ◆ 十分な休養とバランスのとれた食事
- ◆ 人混みや繁華街への外出を控える

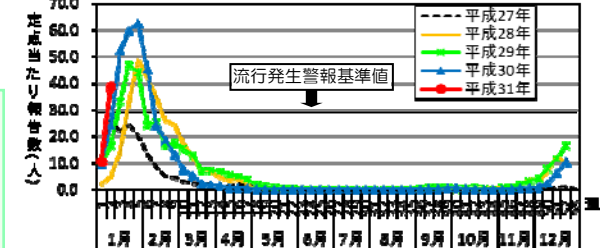
インフルエンザをうつさないためには？

- ◆ 咳エチケット

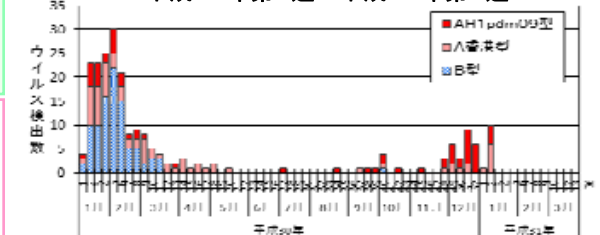
正しい咳エチケット

- ・マスクを着用する(口・鼻を覆う)
- ・マスクがない時は、ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- ・マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆う

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



川崎市におけるインフルエンザウイルス検出状況
—平成30年第1週～平成31年第2週—



(平成31年1月16日結果判明分まで)